

共生社会の実現に向け、今後、ますます求められるソーシャルワークの機能

ソーシャルワークには様々な機能があり、地域共生社会の実現に資する「包括的な相談支援体制の構築」や「住民が主体的に地域課題を発見して解決を試みる体制づくり」を推進するにあたっては、多種多様な人材がこうした機能を発揮することがますます期待されています。生活支援コーディネーター然りです。

地域共生社会の実現

制度が対象としない生活課題への対応や複合的な課題を抱える世帯への対応等、多様化・複雑化するニーズへの対応や、すべての地域住民が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会

地域共生社会の実現に必要な体制の構築

包括的な相談支援体制の構築

住民主体の地域課題解決体制

ソーシャルワークの機能を発揮することによる体制づくりの推進

- ①支援が必要な個人や家族の発見
- ②地域全体の課題の発見
- ③相談者の社会的・心理的・身体的・経済的・文化的側面のアセスメント
- ④世帯全体、個人をとりまく集団や地域のアセスメント
- ⑤問題解決やニーズの充足、社会資源につなぐための仲介・調整
- ⑥新たな社会資源の開発や施策の改善に向けた提案
- ⑦地域アセスメントおよび評価
- ⑧分野横断的・業種横断的な社会資源との関係形成
- ⑨情報や知識の共有化
- ⑩団体や組織等の組織化ならびに機能や役割等の調整
- ⑪相談者の権利擁護や意思の尊重にかかる支援方法等の整備
- ⑫人材の育成に向けた意識の醸成

- ①地域社会の一員であるということの意識化と実践化
- ②地域特性、社会資源、地域住民の意識等の把握
- ③福祉課題に対する関心や問題意識の醸成、理解促進、課題の普遍化
- ④地域住民のエンパワメント
- ⑤住民主体の地域課題の解決体制の構築・運営にかかる助言・支援
- ⑥担い手としての意識の醸成と機会の創出
- ⑦住民主体の地域課題の解決体制を構成する地域住民と団体等との連絡・調整
- ⑧地域住民と社会資源との関係形成
- ⑨新たな社会資源を開発するための提案
- ⑩包括的な相談支援体制と住民主体の地域課題解決体制との関係性や役割等に関する理解促進